

原子力安全対策の徹底を 国、県へ強く要望

原子力安全対策室 ☎39・2305

県内全30市町村長で構成する「市町村による原子力安全対策に関する研究会」は、5月21日に原子力規制委員会と内閣府、26日に花角県知事へ要望書を提出しました。

柏崎刈羽原子力発電所の核物質防護設備の一部機能喪失などの不適切事案の発生や、豪雪時などの原子力災害での

避難が課題となっていることを踏まえたものです（左枠）。要望に対し、

▽原子力規制委員会は「追加検査で核物質防護だけでなく、安全活動も厳しく確認する」「情報公開はセキュリティを考慮し事案ごとに慎重に判断したい」

▽内閣府は「自治体と連携し、

避難の実効性を高めていく」

▽花角県知事は「県の検証委員会でも適格性や避難の実効性を検証し、住民に説明する」「市町村の意向の取りまとめは、相談しながら進めていきたい」と述べました。

今後市民の安全・安心のため、原子力安全対策にしっかりと取り組みます。



花角県知事（①左から2番目）、原子力規制庁の片山次長（②画面右上）に要望書を提出する代表幹事の磯田市長と幹事の中原新潟市長、村山上越市長

主な要望内容

- 原子力規制委員会へ
 - ・東京電力の原子力事業者としての適格性を企業風土や安全文化を含め、改めて継続的かつ厳格に評価・指導
 - ・核物質防護を含む原発における不適切事案に対して、可能な限り迅速に情報を公表する仕組みを構築
- 内閣府へ
 - ・豪雪時や感染症流行下における屋内退避・避難の考え方や基準を提示
- 県へ
 - ・原子力事業者としての適格性をはじめ、原発の安全対策を徹底的に検証
 - ・原発立地自治体以外の市町村の意向を取りまとめる具体的な方法をできるだけ早期に提示

▶詳しくはこちら



逃げ遅れゼロへ



図危機管理防災本部 ☎39・2262



視覚障害者向けの点字版洪水ハザードマップ

視覚障害者や外国人向けハザードマップが完成

市は昨年6月、対象世帯へ洪水ハザードマップを配布しました。洪水時に誰もが逃げ遅れることのないよう、目の不自由な人向けに点字版と音声版、外国人向けに3カ国語に翻訳した外国語版と「やさしい日本語」版を新たに作成。希望者へ配布しています。

一人ひとりが自分たちの避難行動を確認し、いざという時に備えましょう。

外国人向け防災ワークショップは21ページへ

宿泊、商業施設と一時避難先の確保で連携

6月には、市内のホテル・旅館組合、(株)ウオロク、アピタを運営するユニー(株)の3者と災害連携協定を締結しました。宿泊施設は高齢者や障害者など要配慮者向けの避難先商業施設はこれまでの物資の支援に加え、洪水時に立駐車場を避難先としてそれぞれ活用。緊急時の安全な避難につなげます。

令和2年度 決算

暮らしを守り、未来を創る 感染症対策も積極的に

令和2年度の市の決算（見込み）がまとまりました。がんばる市民活動への支援を積極的に進めたほか、健康・福祉・医療・子育て環境の整備や防犯、鳥獣被害対策などを実施。市民の暮らしの安全・安心のため、きめ細かく対応しました。

防災・減災対策では、令和元年に発生した台風第19号の

教訓を踏まえ、洪水ハザードマップの作成や水防訓練、水対策の強化など、災害に強いまちづくりを進めました。

教育のICT（情報通信技術）化や校舎の大規模改修など教育環境を整備。産業振興や働く場の創出、農家の担い手の育成、都市インフラの整備などと併せ、「未来への投資」も行いました。

また、補正予算で対応した新型コロナウイルス感染症対策では、国の補助金も活用。市民の命と生活を守るため、感染拡大の防止や地域経済の支援などに積極的に取り組みました。

決算の内容は、監査委員の審査を経て、市議会で認定を受けます。

図財政課 ☎39・2209

一般会計

歳入 1,607億9,984万円
歳出 1,552億 140万円

差し引き※ 55億9,844万円

※このうち4億4,348万円は、令和3年度に繰り越した事業の財源に充てます

いくらある？貯金と借金

貯金 103億7,231万円
（基金残高）【前年度比+2億1,645万円】

借金 1,550億4,491万円
（市債残高）【前年度比▲12億3,491万円】

市民1人当たりの借金 58万2千円
【前年度比+1千円】

県内20市の平均70万5千円
（令和元年度末）

特別会計 特定の収入（保険料や使用料など）で、その事業の支出を賄う会計

会計名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	238億8,907万円	234億3,621万円	4億5,286万円※
国保寺泊診療所	7,816万円	7,816万円	-
後期高齢者医療	30億5,853万円	30億5,559万円	294万円
介護保険	275億8,583万円	273億9,559万円	1億9,024万円※
診療所	2億6,690万円	2億6,690万円	-
浄化槽整備	4,319万円	4,319万円	-

※国や県から受け取る負担金が多かったことなどによるものです。もらい過ぎた負担金は、令和3年度に返します

企業会計 事業で得られる収入で支出を賄う独立採算制の会計

区分	収入	支出	内部留保資金による補てん	差し引き	
水道事業	収益的収支	64億 546万円	55億2,066万円	-	8億8,480万円
	資本的収支	13億8,233万円	38億5,220万円	24億6,987万円	-
下水道事業	収益的収支	99億7,807万円	97億2,510万円	-	2億5,297万円
	資本的収支	38億8,125万円	71億7,607万円	32億9,482万円	-
簡易水道事業	収益的収支	5億 964万円	4億6,317万円	-	4,647万円
	資本的収支	1億1,617万円	2億6,497万円	1億4,880万円	-

■決算資料は、アオーレ長岡1階の行政刊行物コーナーや各支所情報公開コーナーで9月上旬（予定）から閲覧できます